

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【公表番号】特表2003-503366(P2003-503366A)

【公表日】平成15年1月28日(2003.1.28)

【出願番号】特願2001-505952(P2001-505952)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/337	(2006.01)
A 6 1 K	31/429	(2006.01)
A 6 1 K	31/437	(2006.01)
A 6 1 K	31/4985	(2006.01)
A 6 1 K	31/513	(2006.01)
A 6 1 K	31/555	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	E
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	31/337	
A 6 1 K	31/429	
A 6 1 K	31/437	
A 6 1 K	31/4985	
A 6 1 K	31/513	
A 6 1 K	31/555	
A 6 1 K	33/24	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月15日(2008.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】配列番号4の可変重鎖( $V_H$ )ドメインアミノ酸配列と配列番号3の可変軽鎖( $V_L$ )ドメインアミノ酸配列を含んでなる抗体。

【請求項2】無傷のIgG1抗体である請求項1に記載の抗体。

【請求項3】抗体断片である請求項1に記載の抗体。

【請求項4】Fab断片である請求項3に記載の抗体。

【請求項5】請求項1から4の何れか一項に記載の抗体と製薬上許容可能なキャリアを含んでなる医薬製剤。

【請求項6】水性溶液である請求項5に記載の医薬製剤。

【請求項7】凍結乾燥された請求項5に記載の医薬製剤。

【請求項 8】 細胞障害剤と結合してなる請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の抗体を含んでなる免疫コンジュゲート。

【請求項 9】 請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の抗体をコードする単離された核酸。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の核酸を含んでなるベクター。

【請求項 11】 請求項 10 に記載のベクターを含んでなる宿主細胞。

【請求項 12】 哺乳動物細胞である請求項 11 に記載の宿主細胞。

【請求項 13】 チャイニーズハムスター卵巣(C H O)細胞である請求項 12 に記載の宿主細胞。

【請求項 14】 請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の抗体をコードする核酸を含む宿主細胞を培養して、核酸を発現させて抗体を產生することを含む抗体の製造方法。

【請求項 15】 宿主細胞培養物から抗体を回収することを更に含んでなる請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】 抗体が宿主細胞培養培地から回収される請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】 宿主細胞がチャイニーズハムスター卵巣(C H O)細胞である請求項 14 から 16 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 18】 回収した抗体を製薬上許容可能な担体、賦形剤または安定剤と混合し、抗体を含有する医薬製剤を調製することを更に含んでなる請求項 14 から 17 の何れか一項に記載の方法。